

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	池坊短期大学
設置者名	学校法人池坊学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	文化芸術学科 いけばな・花デザインコース	夜・通信			8	8	7	
	文化芸術学科 ブライダルプランナーコース	夜・通信			8	8	7	
	文化芸術学科 医療クラークコース	夜・通信			9	9	7	
	環境文化学科 製菓クリエイトコース	夜・通信			8	8	7	
	環境文化学科 トータルビューティコース	夜・通信			8	8	7	
	環境文化学科 エステティシャンコース	夜・通信			9	9	7	
	幼児保育学科	夜・通信			11	11	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある教員による科目の一覧： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_5-2.pdf ※今年度は「教員の実務経験を活かした授業科目の一覧表」を学生に配付。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	池坊短期大学
設置者名	学校法人池坊学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/application/councilors.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士	2019/5/31 ～2022/5/30	大学運営を行うにあたって、学生活動、教育活動、研究活動（産官学連携を含む）、また教職員の大学行政活動のそれぞれのステージにおいて弁護士の専門的見地から正しい活動になるようアドバイスを頂く。
非常勤	税理士	2019/5/31 ～2022/5/30	大学運営に必要な会計処理を行っていくうえで、専門的な見地からの的確なアドバイスを頂く。
非常勤	学校法人立命館 名誉顧問	2019/5/31 ～2022/5/30	大学改革を率先して実行された豊富な実績を基に、本学のあるべき大学運営とそのための諸課題を解決していくにあたって最適なアドバイスを頂く。
非常勤	慶應義塾大学 教授	2019/5/31 ～2022/5/30	我が国でも有数の私立大学での実績を基に、大学運営に必要な専門的な方策をアドバイスして頂く。
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	池坊短期大学
設置者名	学校法人池坊学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画(シラバス)は、毎年10～11月頃に全授業科目について、授業を担当する教員に対し作成を依頼する。その作成は、専任・非常勤を問わず全教員にID・パスワードを付与し、WEB上から入力できるシステムを利用している。作成にあたっては、入力方法や注意事項等のマニュアルを予め配付し、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準といった授業計画における重要事項に過不足や漏れが無いよう徹底している。</p> <p>提出された授業計画(シラバス)は、まず教務部職員が形式的な観点から、その後、学科長をはじめとする各専門分野の専任教員が教育指導的な観点から内容を確認し、必要に応じて授業担当教員に追加や修正を依頼する体制としている。在学生の新年度履修登録が3月末に始まることから、3月中旬頃に、「シラバス(講義概要)」の冊子を完成させ、本学ホームページで公開できるよう準備を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	「シラバス(講義概要)」の冊子を配付(学生・教職員) http://www.ikenobo-c.ac.jp/info_class/shirabasu.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>単位授与は、各学期のはじめに履修登録した科目について、授業に出席し、かつ指定された予習・復習を行うことを前提に、授業担当教員が予め授業計画(シラバス)で周知した成績評価方法により行う。その評価方法は、単位認定試験(筆記、レポート、実技等)、平常点(授業への取り組み状況、小テスト、論文・レポート・制作作品の提出等)による。授業に出席していることが基本となるため、原則として授業回数$\frac{2}{3}$以上の出席がない場合は、受験資格を失い、成績評価の対象とはならない。成績評価は以下のとおり、S、A、B、C、Fの5段階で行われ、S、A、B、Cが合格、Fが不合格となる。</p> <p>・S(秀:90～100点) GP4.0 ・C(可:60～69点) GP1.0 ・A(優:80～89点) GP3.0 ・F(不可:59点以下) GP0 ・B(良:70～79点) GP2.0</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>本学では、学生の学習意欲を向上させ、適切な修学指導を行うため、以下の方法で成績評価をグレード・ポイント（G P）に置き換えた平均を数値化（G P A）している。</p> <p>・G P Aの算出方法</p> $\frac{(\text{履修登録した各授業科目の単位数} \times \text{各授業科目のG P}) \text{の合計}}{\text{履修登録した各授業科目の単位数}}$ <p>G P Aによる成績評価は、予め学生に周知・説明した上で、各学期末の成績通知書に記載している。G P Aは、履修登録した全科目から算出するため、学習意欲の高い学生に不利益とならないよう、「履修登録変更期間」を設置し、資格取得・入学前の既修得単位・単位互換生度は算出の対象外とする等の配慮を行っている。</p> <p>また、成績の分布状況を教員が把握することで、学科やコース全体の学習状況を確認するとともに、適切な成績評価がなされているかを判断する材料としている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>「学生生活のしおり」の冊子を配付（学生・教職員）</p> <p>http://www.ikenoboc.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujyohou_6.pdf</p>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>学位授与方針としてのディプロマ・ポリシーは、全学的にはもちろん、学科・コース単位でも設定し、学生が卒業に至るまでの資質・能力の目標を明確に定め、公表している。全学ディプロマ・ポリシーは以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日常の人間活動を形成する「生命」、「生活」、「文化」および「環境」について多面的に理解できる。 ② 文化的営為と精神性について、論理的に思考し、自ら設定した汎用的課題に対して、修得した専門的知識と技能を活かすための考察ができる。 ③ 「自然」、「人」、「事象」等に対して、自己との関係性を深く洞察し、役割を自覚することができる。 ④ 社会を構成する一員としての高い倫理観と良好なコミュニケーションによって自律、協調して主体的、かつ連携的に行動する創造的能力と実践的能力を身に付けることができる。 <p>本学は就職に直結する専門分野の学習を中心としていることから、学科・コース単位のポリシーは、さらに学生が理解しやすい4つの短文で構成し、科目ごとに達成目標として設定するとともに、それを表やカリキュラムマップで示している。</p> <p>また、短期大学の卒業要件としての単位数は62単位であるが、専攻する分野の免許・資格を得るための単位取得も併せて学生に指導し、本学での達成目標としている。最終的な卒業判定については、教務部で管理する成績・単位取得状況をもとに、教授会での審議を経て、学長が認定することを学則に定めている。</p>	

卒業の認定に関する 方針の公表方法	「学生生活のしおり」の冊子を配付（学生・教職員） http://www.ikenoboc.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_6.pdf
----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	池坊短期大学
設置者名	学校法人池坊学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2018/zaimu/taishakutaishou.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2018/zaimu/shikin_keisan.pdf
財産目録	http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2018/zaimu/zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2018/zaimu/jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2018/zaimu/kanji_houkoku.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/jikotenken.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/jaca_2018.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文化芸術学科・環境文化学科・幼児保育学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujyohou_1.pdf ）
（概要） 本学は、華道を基軸とし、長い歴史と文化の視座をもって「日本文化の哲理を理解し美的情操を身につけた人材を育成する」ことを目的に、「和と美」を建学の精神としている。 「和と美」とは、調和あるものは美しく現れ、美しさは調和的であるということの意味する。人間は、自然に生まれ、自然とともにありながら、また自然を作り変える文化的営為（対話）なしに生きることのない存在である。その文化的営為と精神性が、関わるものすべてにおいて、いかに調和的でありうるのか。「いけばな」は、この問いに、日本文化固有の繊細さと奥深さをもって応えてきた。すなわち、手折られる花にあらゆるいのちへの祈りを込めて「いける」心と行為は、自然のいのちを文化のいのちとして新たに造形してゆくことである。それは人間がその生命を生き、生活、環境、文化を通して形成されるとともに、また、生活、環境、文化を構築していく姿勢そのものである。 本学が建学の精神に据えた、この「いけばな」に基づく日本文化固有の調和的・美的精神世界、「和と美」は、多元的かつ多様なものの共存・共生、より大きく深い対話、協調が求められる現代の日本社会、国際社会において、未来の創造へ寄与し貢献する根源的な価値である。日本文化固有の歴史と伝統を護りながら、同時にこの根源的な価値の普遍性を体現し、啓発しうる人材を育成する。 池坊短期大学は、教育理念のもと、その教育課程において学則に基づき定める科目を履修し、所定の単位を修得するとともに以下の要件を備えた学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujyohou_6.pdf ）
（概要） [文化芸術学科] 文化芸術学科では、人間が過去から現代までに創り出した形あるもの、およびその創作をもたらす精神活動や生活活動そのものを「文化」、その創造的な営為をつみあげる基盤を文化環境と捉え、人間活動としての「文化」と様々な価値を付され、形成される芸術を学び、それを基礎とした新たな創造力の涵養を目的とする。加えて、共生の精神のもとに、多様な文化に対する寛容と共働の精神を育み、自己の習得した知と技法を通じて、表現・発信できる人材を育成する。 [環境文化学科] 環境文化学科では、「環境」を自然、社会、人文などにわたるものと捉え、暮らしを取り巻く「環境」に現れる美のあり方を探求し、それを踏まえて新しい生活文化の創造に資する能力の開発を目的とする。これに応じて、現代の様々な「環境」に関わる基礎的な専門知識と、自らの「環境」を生み出す高度な技術の修得によって、自己を取り巻くすべてのものと調和し、そこに様々な美を見出し、作り上げる力をもって、

社会に貢献できる人材を育成する。

[幼児保育学科]

幼児保育学科では、「和と美」は、人間活動の本質である「対話（コミュニケーション）、共生」の精神性を包含すると捉え、「子どもの命を守る」ことを実践できる人材の養成を目的とする。すなわち、対象を知り、また自らを知ることで相互の差異を認め合い、支え高め合うことでさらなる和と美を生み出すことができる。この精神を基軸に、伝統文化の創造的伝承、人材形成の基盤の確立を援助・指導、さらには家庭・地域との連携を図ることのできる、時代が要請する保育および幼児教育の専門職を養成する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<http://www.ikenobo->

[c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujyouthou_5.pdf](http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujyouthou_5.pdf))

(概要)

[文化芸術学科]

文化芸術学科では、建学の精神である「和と美」を理解し、コースごとの教育目標を達成するために、教科課程を「専門教育科目」で構成している。「専門教育科目」は各コースの専門性に応じて体系的に学び、共生の精神のもと、「多様な文化」を理解、創造し、表現するための知識と技能の基礎から応用までを修得するよう設置している。これにより、ディプロマポリシーで明記した能力を修得すべく、コースごとにカリキュラムを編成する。

[環境文化学科]

環境文化学科では、建学の精神である「和と美」を理解し、コースごとの教育目標を達成するために、教科課程を「専門教育科目」で構成している。「専門教育科目」は各コースの専門性に応じて体系的に学び、生活文化を成り立たせる「環境」を理解、創造しうる知識と技能の基礎から応用までを修得するよう設置している。また、高度な知識と技術を裏付けする資格取得ができるようにも構成している。これによりディプロマポリシーで明記した能力を修得すべく、コースごとにカリキュラムを編成する。

[幼児保育学科]

幼児保育学科では、乳幼児期が人間の精神性の発達・豊かなこころの醸成課程において最も重要な時期と捉え、保育や幼児教育の現場における乳幼児同士の「対話・共生」を最も大切なものと意識できるよう、励ましや見守りを通じてコミュニティーづくりを支えることができる専門職を養成する。そのため、具体的かつ実践的な、現場思考と理論的思考の重要性、意義の理解を結びつけながら総合的に学修できるようなカリキュラムを編成し展開する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

<http://www.ikenobo->

[c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujyouthou_4.pdf](http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujyouthou_4.pdf))

(概要)

[文化芸術学科]

文化芸術学科では、本学の建学の精神である「和と美」を理解し、本学科の「文化環境」に関心を持ち、そのうえで自らの将来像を明確にするために、必要な知識・技術等を体得することで、さらに理解を深めることに努める人物、また、社会人・職業人に求められる基礎教養、専門的思考力等を積極的に身につけ、社会に貢献しようとする高い志を持った人物を求める。

<p>[環境文化学科]</p> <p>環境文化学科では、建学の精神である「和と美」を理解し、本学科のくらしを取り巻く「生活環境」に関わる基礎的な専門知識や技能等を体得するための努力を惜しまない人物、また高度な知識と技術を裏付けする資格取得をめざし、自らの将来像を明確に考えることができる高い志を持った人物を求める。</p> <p>[幼児保育学科]</p> <p>幼児保育学科では、建学の精神である「和と美」の精神性の根源となる命の重みを理解し、かつ、日本の未来を担うこどもたちに生きる力として伝え育てる意欲のある人物、また、豊かな人間性と養護・教育に関わる深い愛情と専門性を備えるための努力を惜しまない、社会貢献意欲の高い志を持った人物を求める。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_2.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
文化芸術学科	—	1人	3人	2人	0人	0人	6人
環境文化学科	—	4人	1人	1人	0人	0人	6人
幼児保育学科	—	4人	2人	3人	0人	0人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		65人				65人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	<p>公表方法： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_3_bungei.pdf http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_3_kanbun.pdf http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_3_youho.pdf</p>						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>教員で構成する「FD委員会」を活動の母体として、授業評価アンケート、授業見学を実施し、それらの結果を教員にフィードバックしている。また、教育の質向上を目的とした学内研修会の開催や学外研修への参加促進を行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文化芸術学科	70人	65人	92.9%	120人	128人	106.7%	0人	0人
環境文化学科	90人	68人	75.6%	190人	136人	71.6%	0人	0人
幼児保育学科	90人	63人	70%	190人	122人	64.2%	0人	0人
合計	250人	196人	78.4%	500人	386人	77.2%	0人	0人
(備考)								
b. 卒業生数、進学者数、就職者数								
学部等名	卒業生数		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他			
文化芸術学科	54人 (100%)		1人 (1.9%)	47人 (87%)	6人 (11.1%)			
環境文化学科	77人 (100%)		0人 (0%)	69人 (89.6%)	8人 (10.4%)			
幼児保育学科	48人 (100%)		1人 (2.1%)	41人 (85.4%)	6人 (12.5%)			
合計	179人 (100%)		2人 (1.1%)	157人 (87.7%)	20人 (11.2%)			
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)								
【文化芸術学科】								
【いけばな・花デザインコース】								
業界／花、フラワー、伝統文化								
就職先／池坊華道会、くろちく、竹中庭園緑化、ちきりやガーデン、鶴屋鶴寿庵、テイクアンドギヴ・ニーズ、花市商店、日比谷花壇、ベルモニー、美濃吉、等								
【ブライダルプランナーコース】								
業界／ブライダル、ホテル								
就職先／アイケイケイ、ウエスティン都ホテル京都、エスクリ、華王殿、京都ホテル、京都東急ホテル、クレールコーポレーション、スタイルズ、テイクアンドギヴ・ニーズ、ノバレーゼ、ホテルモントレ、日比谷花壇、HIROTA、ミリアルリゾートホテルズ、ラヴィーマーナ神戸、等								
【医療クラークコース】								
業界／医療、病院								
就職先／宇治徳洲会病院、大阪赤十字病院、近江八幡市立総合医療センター、京都市立病院、京都九条病院、京都第一赤十字病院、甲南病院、済生会茨木病院、吹田徳洲会病院、武田病院、田辺中央病院、彦根中央病院、丸太町病院、野洲病院、洛和会音羽病院、等								
【環境文化学科】								
【製菓クリエイトコース】								
業界／製菓・製パン								
就職先／たねや、ユーハイム、ロマンライフ、重光、阿闍梨餅本舗、笹屋伊織、エーデルワイス、老松、京都ホテル、キャバトルイシイ、パレット、パティスリーゼロ、等								
【トータルビューティーコース】								
業界／美容、アパレル								
就職先／アルビオン、エキップ、オンワード樺山、花王カスタマーマーケティング、カネボウ化粧品、コーセー化粧品販売、サンエービーディー、資生堂ジャパン、シャネル、シーボン、シーラボ、日本ロレアル、P&Gプレステージ、マリークワントコスメチックス、DHC、ELGC、等								

<p>【エステティシャンコース】 業界／エステティック 就職先／エルセーヌ、クールプロジェクト、シダックスビューティケアマネジメント、ジェイエステティック、シャンブルスフレ、シーズラボ、ステーションカンパニー、ソシエワールド、ソティスジャパン、テスワールド、TBCグループ、ニューアートラパルレ、等</p> <p>【幼児保育学科】 業界／保育・幼児教育 就職先／池坊保育園、あおぞら保育園、カナリヤ保育園、亀岡保育園、こぐま白雲北保育園、月かげ保育園、どんぐり保育園、東山保育園、ひかり保育園、まめのき保育園、るんびに一保育園、かすが森の子園、みつばちこども園、あかね幼稚園、永観堂幼稚園、光華幼稚園、聖ルカ幼稚園、橘幼稚園、なるみ幼稚園、ふたば幼稚園、たかつかさ児童館、等</p> <p>(備考)</p>

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
文化芸術学科	57人 (100%)	54人 (94.7%)	2人 (3.5%)	1人 (1.8%)	0人 (%)
環境文化学科	85人 (100%)	76人 (89.4%)	1人 (1.2%)	8人 (9.4%)	0人 (%)
幼児保育学科	53人 (100%)	46人 (86.8%)	3人 (5.7%)	4人 (7.5%)	0人 (%)
合計	195人 (100%)	176人 (90.3%)	6人 (3.0%)	13人 (6.7%)	0人 (%)

(備考) AO入試による入学者数が増え、志望によるミスマッチは減っており、心身を理由にする退学者が多数である。

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 授業計画（シラバス）は、全授業科目について、授業を担当する教員に対し作成を依頼し、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準といった重要事項を公表している。提出された授業計画（シラバス）は、まず教務部職員が形式的な観点から、各専門分野の専任教員が教育指導的な観点から内容を確認し、必要に応じて授業担当教員が修正する。3月中旬頃に、「シラバス（講義概要）」の冊子を完成させ、本学ホームページで公開できるよう準備を行う。</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 単位授与は、各学期のはじめに履修登録した科目について、授業に出席し、かつ指定された予習・復習を行うことを前提に、授業担当教員が予め授業計画（シラバス）で周知した成績評価方法により行う。短期大学の卒業要件としての単位数は62単位であるが、専攻する分野の免許・資格を得るための単位取得も併せて学生に指導し、本学での達成目標としている。最終的な卒業判定は、教務部で管理する成績・単位取得状況をもとに、教授会での審議を経て、学長が認定することを学則に定めている。</p>

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	文化芸術学科 いけばな・花 デザインコー ス	62 単位	有	1 年次 48 単位 2 年次 56 単位
	文化芸術学科 ブライダルプ ランナーコー ス	62 単位	有	1 年次 48 単位 2 年次 56 単位
	文化芸術学科 医療クラーク コース	62 単位	有	1 年次 48 単位 2 年次 56 単位
	環境文化学科 製菓クリエイ トコース	62 単位	有	設けていない
	環境文化学科 トータルビュ ーティーコー ス	62 単位	有	1 年次 48 単位 2 年次 56 単位
	環境文化学科 エステティシ ャンコース	62 単位	有	設けていない
	幼児保育学科	62 単位	有	設けていない
GPAの活用状況 (任意記載事項)	公表方法： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_6.pdf			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法： http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/pdf/2020/publication/kyouikujoyouhou_4.pdf			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.ikenobo-c.ac.jp/shisetsu/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

1 年次生

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他 教育充実費	その他 華道実習費	その他 花材費	その他 茶道実習費	備考 (任意記載事項)
	文化 芸術 学科	808,000 円	240,000 円	280,000 円	20,000 円	60,000 円	20,000 円	
	環境 文化 学科	808,000 円	240,000 円	280,000 円	20,000 円	60,000 円	20,000 円	
	幼児 保育 学科	808,000 円	240,000 円	280,000 円	10,000 円	30,000 円	— 円	

2年次生

学部名	学科名	授業料(年間)	入学金	その他教育充実費	その他華道実習費	その他花材費	その他茶道実習費	備考(任意記載事項)
	文化芸術学科	808,000円	—円	280,000円	10,000円	30,000円	—円	
	環境文化学科	808,000円	—円	280,000円	10,000円	30,000円	—円	
	幼児保育学科	808,000円	—円	280,000円	—円	—円	—円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) まず、高等学校から大学の学びへスムーズに移行できるよう入学前教育を実施している。学期初めのオリエンテーションで履修に関するガイダンスを実施し、全体的な説明だけでなく、クラス担任による個別の助言や指導を行っている。授業に関する質問には、全科目担当者のオフィスアワーを設定しており、専任教員は個人研究室に待機し質問に答えるなど、学習へのサポート体制を整えている。また、初年次教育として、建学の精神を学ぶ科目やキャリア指導を含むゼミ形式の科目を設置している。学力・人物ともに優秀な学生を表彰する奨励制度、本学独自の奨学金制度を設けており、経済面からの修学支援も行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 進路選択にあたっては、教員や職員が学生面談を適宜おこない、専門分野だけでなく別分野への希望についても柔軟に対応し、進路のミスマッチを防ぐようなサポートに努めている。 就職活動へのサポートとしては、1年次生の後期より本格的に準備講座を実施し、学生がキャリア形成への意識とスキルを高めることができるような支援をおこなっている。実施実績としては、「OGOB講演会」「履歴書作成講座(ゼミ内)」「文章作成講座」「面接対策講座」「グループディスカッション対策講座」「学内キャリアセミナー」等があり、担任教員・学生支援部が主体となつての企画・実施となっている。編入・進学を希望する学生についても、教員・教務部により論文指導や面接指導等の支援をおこなっている。 また、2018年度卒業生より「卒業後3年サポート」を新たに打ち出し、在学時に加え、全学生について卒業後の支援についても継続しておこなっていく方針を明確にしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 入学後に学校保健法に基づく健康診断を全員に実施している。再検査が必要となった学生に対しては保健室から指導をおこない、確実な受診を促している。また、健康上の不安や持病がある場合には、まずは保健室職員(看護師)や担任教員に相談するよう周知し、本人の希望や必要性があれば授業担当教員にも所定の書面にて引き継ぎ、可能な範囲での配慮ができるよう情報共有に努めている。 また、入学初年度の早期から教職員による個人面談(1年次生全員対象)をおこない、学生生活の状況や悩みなどを早い段階からヒアリングし、メンタル面を含めた学生のサポートに活用している。その内容については保護者へ書面にて郵送し、学生を保護

者・学校の両面から支えることができるような協力体制の構築に取り組んでいる。
精神的・身体的な悩みを抱える学生については、カウンセラーを配置した学生サポート
ルーム（週2日開室）でも適宜相談の機会を設けており、保護者や担任教員との連携・
医療機関への引継ぎ等に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.ikenobo-c.ac.jp/tandai/kenkyuu.html>